

平成26年度
事業計画書



公益財団法人宝塚市文化財団
TAKARAZUKA FOUNDATION FOR CULTURE PROMOTION

平成26年度事業計画書

～ 目 次 ～

○平成26年度基本方針 … P. 2

○平成26年度事業概要

I. 芸術文化鑑賞事業の開催並びに地域の文化活動の育成等

【1】芸術文化鑑賞事業の開催

- 1. ベガ・ホール事業 … P. 3
- 2. ソリオホール事業 … P. 6
- 3. 宝塚文化創造館事業 … P. 8

【2】地域の芸術文化活動の育成等

- 1. 地域文化活動の発表、交流の場提供事業 … P. 10
- 2. 地域文化活動の活性化／文化団体の育成事業 … P. 11

【3】地域の文化に関する情報の収集及び提供 … P. 14

【4】その他の事業 … P. 14

II. 芸術文化施設の管理運営

【1】宝塚市立文化施設ベガ・ホール管理運営事業 … P. 16

【2】宝塚市立文化施設ソリオホール管理運営事業

【3】宝塚市立宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）管理運営事業

III. その他の事業

【1】文化財団「友の会」 … P. 17

【2】その他

平成26年度基本方針

宝塚市文化財団は、昨年公募にて募集が行われた宝塚市立文化施設及び宝塚文化創造館の指定管理者に選任された。指定期間は平成26年4月から平成31年3月までの5年間であり、平成26年度は選任1年目として今まで以上に宝塚市の文化の振興のために精力的に取り組んでいく。

文化財団は、宝塚市が個性と魅力にあふれ、文化の薫り高く、にぎわいと活力に満ちた観光・産業・文化などの都市ブランドを発信していくため、各分野との連携を強化し、文化の分野から宝塚市の都市発展の一翼を担っていきたいと考えている。また、指定管理者として3つの文化施設の特徴を活かした活用を進めると同時に、長年にわたって培ってきた市民及び芸術文化団体等のネットワークを活かし、地域に根ざした文化事業を継続して行っていく。

併せて今年度は財団設立20周年を迎えると同時に、宝塚市制60周年、宝塚歌劇は100周年の年でもある。財団は“宝塚の街とともに これまでも、そしてこれからも”をコンセプトに、市や関係団体と協力して、節目の年を迎えるにふさわしい周年記念事業を行っていく。

これらをふまえて設定した平成26年度事業重点方針と、具体的な取り組みは下記のとおりである。

○平成26年度事業重点方針

- (1) 幅広い世代の場づくりと市民との協働
- (2) 3館の特徴をいかした活用と街のにぎわいづくり
- (3) 想いを伝える情報力の強化
- (4) 周年記念事業の実施



○具体的な取り組み内容

●アウトリーチ事業の拡大

これまでに地域のアーティストの協力を得て、市内の学校、宝塚駅前などで様々なアウトリーチ事業を行ってきた。平成26年度からはさらに病院や福祉施設など開催場所を拡大し、また、ジャンルも音楽から演劇まで広げ、より多くの方に文化の感動をダイレクトに伝えていく。

●若い人へのチケット割引制度

若い世代の文化事業参加を促す目的で、18歳から29歳以下の人を対象に財団自主事業のほぼ全てでチケット料金を一般価格の半額とする「青年ハーフチケット」枠を導入する。※各事業20枚限定

●宝塚市文化団体連絡会の活動と「たからんまつり」の開催

交流の機会の少ない宝塚市内の文化団体による連絡会を平成22年度から立ち上げ、団体同士の情報交換、つながりを強めている。また、加盟団体が協力して子どもを対象とした芸術文化の体験事業を開催するなど、異ジャンル交流や地域文化の活性化を図っていく。

●20周年記念事業の実施

財団設立20周年を記念して、市内の文化団体と様々な事業を共同開催し、街を盛り上げる様々なイベントを行う。また、市制60周年を迎える市とも連携して事業を行っていく。具体的には、第3回宝塚ベガ音楽コンクールにおいて第1位を受賞し、現在世界的に活躍するオペラ歌手の公演「佐野成宏テノールリサイタル」を始め、市交響楽団や市吹奏楽団、宝塚歌劇団OGなど、市内の音楽関係者・団体が一堂に会して演奏し周年を祝う「音で祝う！アニバーサリーコンサート」、地元演奏家を中心となってオペラのハイライトを上演する「オペラ・ガラコンサート」、ベガ・ホールの所有する3台のピアノ(スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ)を活かした「3台のピアノによる響演」などを企画するとともに、宝塚いけばな協会、宝塚市手工芸協会との共催による展覧会や公募展を実施する。具体的な内容は3ページから記載のとおりである。



○平成26年度事業概要（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

I. 芸術文化鑑賞事業の開催並びに地域の文化活動の育成等

【1】 芸術文化鑑賞事業の開催

音楽専用ホールのベガ・ホール、多目的ホールであるソリオホール、宝塚音楽学校旧校舎であり、“すみれミュージアム”をそなえた宝塚文化創造館の3拠点を中心に、それぞれの施設の特色を生かした事業を実施していく。事業を実施するにあたり、文化ボランティアの活用や観客層の充実などの「人づくりを進めるほか、芸術文化を楽しむ雰囲気づくりを意識した「場づくり」を行っていく。

1. ベガ・ホール事業

音楽専用ホールのベガ・ホールで開催する事業は、全国発信し高い評価を得ている「宝塚ベガ音楽コンクール」「宝塚国際室内合唱コンクール」の2つのコンクールと、質の高いコンサート、パイプオルガンを活用した取り組みを中心に計画していく。

(1)「第26回宝塚ベガ音楽コンクール(ピアノ・木管部門)」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)全国各地の若い有能な演奏家の発掘と、「音楽のあるまち“宝塚”」にふさわしい音楽文化の発展向上を目指して開催。市民参加の会場審査員や遠方からの出場者の練習場所として、ピアノを所有している一般家庭を募るなど、市民の協力を得て実施する。

(時期)ピアノ部門 予選 6/7(土)・8(日) 本選 6/28(土)

木管部門 予選 6/13(金)・14(土)・15(日) 本選 6/29(日)

(入場料)予選 無料

本選 各日1,000円(当日1,500円) 通し券1,500円(当日同額)

(コンクール参加料)30,000円

(見込入場者数)予選 のべ700人/本選 300人 (見込参加者数)250人(ピアノ90人/木管160人)



○「宝塚ベガ音楽コンクール 1位入賞記念演奏会 ベガ・ウィナーズコンサート」(関連企画)

(概要)6月に開催する第26回宝塚ベガ音楽コンクールの、ピアノ・木管部門の第1位入賞者による記念コンサート。1位入賞者を市民に広く紹介し、若い演奏家の今後の演奏活動のステップとなるコンサートとして計画する。出演:宝塚ベガ音楽コンクール1位入賞者

(時期)下半期 (入場料)1,000円(当日1,500円) (見込入場者数)300人

拡充 (2)「第30回記念宝塚国際室内合唱コンクール・

“無差別級グランプリ大会”～聴衆審査による～」(略称 TICC)

(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)合唱の原点といえる“少人数による室内合唱”の普及、また、音楽を通じた国際交流の推進に資する目的で、昭和59年から開催している国際的にレベルの高いコンクール。今回はルネサンス・バロック部門、ロマン派部門、近現代部門、シアターピース部門の4部門を実施。海外からはロシア、タイ、シンガポールより出場が予定されている。また、TICC ウィークと銘打ち市内各所でのミニコンサートを計画する。

今回はこのコンクールが第30回であることを記念し、コンクールの翌日に“無差別級”として部門の枠にとらわれず歌声を競い合うグランプリ大会を開催する。

助成：(公財)ロームミュージックファンデーション(予定)
(時期)コンクール 7/26(土) グランプリ大会 7/27(日)
(入場料)各日2,500円(当日3,000円) セット券4,500円
(参加料)予備審査2,000円、コンクール参加20,000円
(見込入場者数)各日300人



○「TICCウィーク」(関連企画)

「TICC街かどコンサート」

(時期)7/21(月・祝)～24(木) (会場)市内各所 (入場料)無料

「TICC 前夜祭」

(時期)7/25(金) (会場)G・コレクション阪急宝塚前広場 (入場料)無料
(出演者)宝塚市内の合唱団とTICCに出場する団体。

○発声講習会(関連企画)

(概要)宝塚国際室内合唱コンクールの浸透と、市内で活動する合唱団のレベルアップのために、わかりやすく実践的なテーマの講習会を実施する。

(時期)未定 (入場料)500円(当日700円) (見込入場者数)190人

○「コーラスマスタークラス」(関連事業)

(概要)宝塚国際室内合唱コンクールへの出場を目標に、コンクールの各審査部門の理解を深めるために実施する。共催：日本合唱指揮者協会関西支部 (時期)7/24(木)

(3)コンサート事業

①「宮川彬良とアンサンブル・ベガ ポップス&クラシックス Vol. 20」

(概要)作曲家・舞台音楽家である宮川彬良さんの編曲・司会により、クラシックファンだけでなくポップスファンにもアピールする魅力的なプログラムが好評のベガ・ホールのフラッグシップ・コンサートを開催する。

(時期)9月予定

(入場料)4,000円(当日4,500円)

(見込参加者数)380人

(出演)宮川彬良(音楽監督、ピアノ)、辻井淳、日比浩一(ヴァイオリン)、
馬淵昌子(ヴィオラ)、近藤浩志(チェロ)、新真二(コントラバス)、
鈴木豊人(クラリネット)、星野則雄(ファゴット)、池田重一(ホルン)



新規

宝塚市制60周年&財団設立20周年記念事業(宝塚市特別指定管理事業)

②「佐野成宏テノールリサイタル」

(概要)宝塚市制60周年記念「音楽のあるまち“宝塚”」特別公演リサイタル事業。

第3回宝塚ベガ音楽コンクール声楽部門において第1位ならびに特別賞を受賞し、
世界を舞台に活躍しているテノール歌手のコンサート。

(日時)4/18(金)19:00 (見込参加者数)300人

(入場料)一般4,000円(当日4,500円)

(プログラム)ヘンデル:オンブラマイフ、

プッチーニ:星は光りぬ オペラ「トスカ」より ほか



新規

宝塚市制60周年&財団設立20周年記念事業

③「音で祝う！アニバーサリーコンサート」

(概要)市内の音楽関係団体が一堂に会して周年を祝うコンサート。

宝塚市や手塚治虫作品にちなんだ音楽や歌の演奏、団体やアーティスト同士のコラボレーション演奏などを行い、市民への活動成果披露と団体同士の交流を図る。

(時期)12/21(日) (入場料)1,000円(当日1,500円)

(見込入場者数)360人

(出演予定)宝塚市交響楽団、宝塚市吹奏楽団、宝塚合唱連盟、宝塚演奏家連盟、ベガ ジュニア アンサンブル、宝塚歌劇団OG(すみれエコーズ) ほか



新規

財団設立20周年記念事業

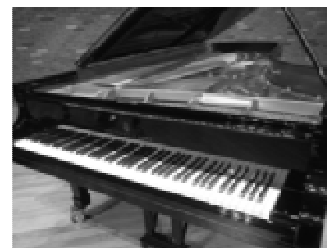
④「3台のピアノによる響演」

(概要)ベガ・ホールが所有するピアノ(スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ)を活かした事業。音色の聴き比べや、1台では弾けない曲を堪能できるコンサートを開催する。宝塚演奏家連盟と共催。

(時期)11/15(土) (入場料)2,500円(当日同額)

(見込入場者数)360人

(出演)宝塚演奏家連盟会員のピアニスト



新規

財団設立20周年記念事業

⑤「オペラ・ガラコンサート」

(概要)財団設立20周年を記念し、ベガ・ホールではなかなか上演ができない「オペラ」のハイライトをコンサート形式で開催する。出演者には地元演奏家及びベガ音楽コンクール出身の若手声楽家などを起用する。世界三大オペラの一つと言われる「椿姫」から名場面を抜粋し、初心者でも分かりやすい解説付きで上演。

(時期)10/24(金) (入場料)3,000円(当日3,500円) (見込入場者数)300人

(出演)斉藤言子(ソプラノ)、井上ひろふみ、越野保宏(テノール) ほか

⑥「第35回ベガメサイア」

(概要)公募により結成する合唱団「ベガメサイアを唱う会」が、バロック音楽の演奏に定評のあるテレマン室内オーケストラとの共演でヘンデルの「メサイア」を歌い上げる、ベガ・ホール冬の風物詩コンサート。

助成:(公財)兵庫県芸術文化協会(予定)

(時期)12/14(日) (入場料)3,000円(当日3,300円) (見込入場者数)360人

(出演)中村健(指揮)、テレマン室内オーケストラ(演奏)、ベガメサイアを唱う会、宝塚少年少女合唱団(合唱) ほか

⑦その他 ベガ・ホールコンサート

(概要)国内外のアーティストによる上質な公演を実施し、ベガ・ホールのイメージアップ、ラインナップの充実を図る。また単独主催の他、教育機関、芸術団体、プロモーターなどと協働し、共催、提携公演を行う。

〇「県西音楽科現役高校生によるティーンズ・フレッシュ・コンサート」

4/4(金)、8/5(火)、8/26(火)、12/16(火)、2/3(火) 全5回開催

共催:県立西宮高等学校音楽科

○「ベガにオーケストラがやってきた！Vol.5」 6/24(火) 共催:神戸女学院大学

○「ミドル アーミー バンド チェンバーコンサート 2015」

協力:陸上自衛隊中部方面音楽隊

(時期)2月 (入場料)無料 ※要整理券

(出演)陸上自衛隊中部方面音楽隊によるアンサンブルメンバー



(4)オルガン事業 (宝塚市特別指定管理事業)

「市民のためのオルガンコンサート」

(概要)ベガ・ホールの象徴であるパイプオルガンを活用した事業を計画する。

気軽にベガ・ホールに足を運んでいただき、オルガン音楽に触れる機会を提供する。6回開催。

(時期)4/12、6/21、8/9、10/11、12/13、2/14 土曜日開催

(入場料)500円 (見込入場者数)各回90人



(5)「いにしへのひびきにのせて チェンバロコンサート」

(概要)ベガ・ホールのロビーでの無料コンサート。出演者と距離の近いなごやかな雰囲気の中で、ホール所有のチェンバロの音色を気軽に楽しんでいただく。ホールを身近に感じることのできるコンサートを目指す。4回開催。

(時期)6月、9月、12月、3月開催予定

(入場料)無料 (見込入場者数)各回90人



2. ソリオホール事業

ソリオホールで開催する事業は、日本の伝統芸能を中心とした「舞台公演」や、気軽に楽しめる映画会、心が踊るジャズライブなどを中心に計画している。「気軽」「わかりやすい」「はじめて」などをキーワードに「舞台芸術との最初の出会いの場所」をコンセプトに展開する。

(1)舞台公演

①「たからづか能」

(概要)日本の伝統芸能「能楽」を上演し、市民に古典芸能に親しむ機会を提供する。今年度は財団設立20周年、市制60周年を記念して祝言能「高砂(たかさご)」を取り上げる。また、手塚漫画「ブラック・ジャック」が題材の新作狂言「勘当息子」を上演する。

公演当日のロビーでは、宝塚市花き園芸協会と書道家である乾玄象さんに協力をいただき、「高砂」にちなんだ展示を行う。さらに、公演への理解を深めるため、参加型の関連講座と能舞台での能体験を開催する。

助成:独立行政法人日本芸術文化振興会(予定)

(日時)5/11(日)14:00 (見込入場者数)300人

(入場料)一般[指定]3,500円(当日4,000円)、[自由]2,800円(当日3,300円)

特別席[お祝いシート]1,500円(当日同額)

(演目)能「高砂」、狂言「勘当息子(新作狂言)」、仕舞「羽衣」ほか

(出演)梅猶会(梅若猶義ほか)、大蔵流狂言善竹会(善竹隆司ほか)



○講座「高砂と相生の松－摂播沿岸の歴史地理から－」（関連企画）

歴史家・田辺先生が地域史から能「高砂」を解説する。

（時期）4/26（土）（参加料）1,000円

（見込参加者数）70人（講師）田辺真人（園田学園女子大学名誉教授）

○はじめてのお能体験（関連企画）

公演前日に、実際に能舞台で出演者による解説、能の体験などを実施。

（時期）5/10（土）（参加料）500円（見込参加者数）30人



②「宝塚ソリオ寄席」

（概要）ソリオホールの恒例イベントとして定着した米朝一門5名による上方落語の寄席。日本の話芸である落語を生で楽しめる機会を身近なホールで提供する。

（日時）2/27（金）18:30（入場料）2,500円（当日3,000円）（見込入場者数）300人

(2)「シネマイン ソリオ」

（概要）気軽にソリオホールに足を運んでもらうきっかけづくりとして映画会を実施。第3木曜日を基本に、邦画と洋画を定例的に実施することにより、ソリオホールのラインナップの充実を図る。（6回開催のうち邦画を3回、洋画を3回上映する。）なお、今年度は財団20周年記念として6月、10月、2月には1日に異なった洋画2作品を上映。セット料金を設定し、さらなる集客アップを図る。

（時期）4/17、6/19、7/17、10/16、12/18、2/19 木曜日開催

（入場料）一般800円（当日1,000円）、2回セット券1,200円（前売のみ）

（見込入場者数）年間 3,000人

（上映予定）「人生、いろいろ」（邦画）、「風と共に去りぬ」（洋画）ほか

(3)「ライブインソリオ！JAZZ」

（概要）ライブハウス形式のレイアウトが可能なソリオホールの特徴を活かしたライブ事業。気軽にジャズを楽しむ機会を提供する。昼夜2回公演の実施。出演：中島教秀（ベース）ほか

（時期）9/26（金）、2/13（金）（入場料）1,500円（当日2,000円）*ワンドリンク付き

（見込入場者数）各日230人

(4)その他の提携/共催公演

①「第8回宝塚パリ祭」

（概要）宝塚歌劇『モン・パリ』の初演が日本のシャンソンの始まりであることにちなんだ、宝塚ならではのシャンソンコンサート。共催：宝塚シャンソン化計画

（時期）7/5（土）・6（日）（入場料）2,500円（当日3,000円）（見込入場者数）各日270人

②「人形劇団クラルテ公演『おきやく、おことわり?』」

（概要）昭和23年創立の関西老舗人形劇団による宝塚公演。共催：人形劇団クラルテ

（時期）2/15（日）（入場料・見込入場者数）未定

③「みんな元気になろうびっくり箱V」

（概要）3.11 東日本大震災への支援活動として開催する、毎年3月上旬に関西の演劇人によるチャリティー公演の演

劇祭。第4回から宝塚に場所を移し、児童、青少年向けの演劇・人形劇作品などを上演する。

共催：全国児童・青少年演劇協議会 関西ブロック

(時期)3/1(日) (入場料・見込入場者数)未定

3. 宝塚文化創造館事業

平成23年度から指定管理を受け運営を行っている宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)では、「歌劇の学び舎」として宝塚歌劇にまつわるイベントの他、新しい文化スポットとして地域と協働しながら「文化の創造」にふさわしい企画を展開していく。

(1) 講堂ホールイベント

①「タカラヅカ・ノスタルジックコンサート」

(概要)すみれミュージアムとの連携イベント。宝塚歌劇団OGによる、宝塚歌劇のテーマ曲や懐かしの歌謡曲をトークとともにお届けするコンサート。

3回開催。

(時期)5/3(土・祝)、9/7(日)、1/25(日)

(入場料)3,000円(当日3,500円) (見込入場者数)各回155人

(構成・演出)岡田敬二(演出家・文化創造館名誉館長、財団副理事長)



②「宝塚歌劇シンポジウム タカラヅカトーク&朗読劇『私は芝居がしたいの!』」

(概要)すみれミュージアムとの連携イベント。宝塚歌劇団の演出家ならびに歌劇団OGによるトークと、被爆して亡くなった宝塚スター園井恵子さんを主人公とした朗読劇「私は芝居がしたいの!」を上演。トークショーと、劇を織り込んだシンポジウム。2回公演予定。

(時期)8/10(日) (入場料)3,000円(当日3,500円) (見込入場者数)各160人

(出演)宮田達夫(作者)、草笛雅子(宝塚歌劇団OG) ほか (ナビゲーター)岡田敬二

③「朗読ミュージカル 山崎陽子の世界」(開館記念企画)

(概要)開館記念日(7/15)にあわせ、宝塚歌劇団OGでもあり童話作家の山崎陽子さんと、同じく歌劇団OGで日本を代表する女優として活躍されている有馬稲子さんを迎え、トークショーを加えた形で朗読ミュージカルを開催する。市民プロデューサー育成事業として、市民グループの「宝塚文化を紹介する会」と共催しながらイベントの企画・進行・運営など協働制作する。

(日時)7/13(日)①11:00 ②14:00 (入場料)3,500円(当日4,000円)

(見込入場者数)各回145人

④「元気な長寿の仲間たち展 Vol.IV」

(概要)宝塚市展に出展した80歳以上を対象にした展覧会。敬老の日を含めた期間に開催する。

(時期)9/15(月・祝)～21日(日) (入場料)無料

(見込入場者数)300人

(見込出展者数)30名 (見込出品数)50点



⑤「ハートフル避難訓練コンサート」

(概要)地元自治会との合同避難訓練とコンサートを連動させ、地域の防災意識を高めるイベントを開催。

地元演奏団体によるコンサートと、消防署による防災知識のレクチャー及び、花のみち・さくら橋公園を使った避難訓練を実施する。

(時期)10/5(日) (入場料)無料 (見込入場者数)150人

新規

⑥「活弁映画へようこそ!『唸の母』」

(概要)昭和6年製作の片岡千恵蔵主演『唸の母(無声映画)』を、現役活弁士の井上陽一さんによる活弁と解説を交えて上映する。

(時期)4/6(日) (入場料)800円(当日1,000円) (見込入場者数)90人

⑦ワークショップ事業

(概要)文化創造館の講堂・バレエ教室・日舞教室を利用した舞台芸術ワークショップを実施する。舞台上のプレイヤーのノウハウ(ダンス・舞台メイク等)からバックステージのノウハウ(大道具・音響・照明等)まで、幅広く舞台芸術に触れてもらう機会を提供する。

(時期)通年 (参加料)500~2,000円 (見込参加者数)190人

(2) 2階展示室 すみれミュージアム 企画展

(概要)歌劇の学び舎「宝塚音楽学校」と宝塚歌劇のミュージアム。宝塚音楽学校での予科生・本科生の2年間を追った写真や、授業で使用された教材の展示、普段見られない実際の授業風景などを映像で紹介する。

また、舞台やテレビで活躍中の歌劇団OGの卒業写真を見ることができ、宝友会等のOG会との連携により、開館時にはなかった期の写真も集まるなど充実してきている。

企画展映像スペースでは120インチのスクリーンで歌劇に纏わる貴重な映像見ることができ、企画にあわせた品々を展示する。また季節毎にキャンペーンを展開する。また、昨年度新しくミュージアムグッズとして作成した薔薇タオルハンカチを引き続き販売し、ミュージアムのイメージと知名度アップに役立てる。

(開館)通年 10:00~16:30 水曜休館

(入場料)一般300円、中高生200円、小人100円

(見込入場者数)7,400人/1年

(企画展)4月中旬~10月中旬 「宝塚歌劇 思い出の新人公演」

10月中旬~4月中旬 内容未定



【2】地域の芸術文化活動の育成等

市民の日頃の文化活動の成果を披露できる「ハレの場」をより楽しいものになるよう演出・企画する。特に子ども達が芸術文化に参加できる機会を提供することを重点的に行う。文化芸術団体に対して、平成22年度発足した「宝塚市文化団体連絡会」への参加を促し、横断的な連携がとれる組織づくりを目指していく。

1. 地域文化活動の発表、交流の場提供事業

(1)「第48回宝塚市民合唱祭」

(概要) 市内で活動する合唱団に発表の場を提供するとともに、合唱を通じての市民交流を図るため開催。

出演合唱団の増加に伴い、2日に渡って開催。宝塚合唱連盟と共催。

(時期) 11/1(土)・2(日) (会場) ベガ・ホール

(入場料) 500円(当日同額) (見込入場者数) のべ1,300人

拡充

(2)「第30回宝塚伝統芸能フェスティバル」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 伝統芸能を愛好する市民が一堂に会して日頃の研鑽・練習の成果を発表、交流を図ると共に、伝統芸能の継承発展を図る。今回はフェスティバル30回、市制60周年、財団20周年を記念して「祝(いわい)」をテーマとし、各団体がテーマにちなんだ演目を披露する。あわせて今回は特別プログラムとして生田雅楽会を招き、雅楽演奏により祝賀ムードを盛り上げる。宝塚伝統芸能フェスティバル実行委員会と共催。

(時期) 5/25(日) (会場) ソリオホール (入場料) 無料 (見込入場者数) のべ1,500人

○「宝塚こどもいけばな教室」(関連企画)

(概要) 子ども達がいけばなを通じて、和文化に対する理解を深めることを目的として実施。伝統芸能フェスティバルに出品し成果を発表する。全10回実施予定。

(時期) 3/15～5/25 (会場) ソリオカルチャーほか (参加料) 15,000円(全10回・花材費込み)

(見込参加者数) 12人 (参加対象) 小学2年生～中学3年生

(講師) 嘉勢澄甫(未生流 正目代 宝塚いけばな協会会員)

(3)「第58回宝塚市展」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 日頃から芸術を愛好し、創作活動に励んでいる人々の作品を公募し、活動の成果発表を通じて市民文化活動の奨励となることを目的に開催。

洋画・彫塑・写真・デザイン・書・工芸・日本画の計7部門で実施。

一般公募の作品のうち入賞・入選作品を展示する。

(時期) 作品受付: 1/16(金)・17(土)、審査: 18(日)

会期: 1/23(金)～27(火)

(会場) ソリオホール (出品料) 1部門1,500円 (見込出品者数) 550人

(市展入場料) 無料 (見込入場者数) のべ3,000人



(4)「第25回宝塚芸術展」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 市民の芸術に対する関心を高め、その質的向上を図るため宝塚市文化連盟会員作家の作品を展示。

宝塚市展と同じ7部門で開催。宝塚市展と同時開催することにより相乗効果を図る。

(時期) 1/23(金)～27(火) (会場) 国際・文化センター

(入場料) 無料 (見込入場者数) のべ900人

2. 地域文化活動の活性化／文化団体の育成事業

(1)「第6回宝塚学検定」

(概要)宝塚のまちの魅力を再発見し、故郷に対する理解や関心を深めてもらうことを目的として実施。関連企画として、前年度合格者のつどいや試験対策セミナー、街歩きを実施する。

また、第4、5回の検定で誕生した「宝塚学博士」が、自主的にもっと宝塚の魅力を引き出す活動をする場として発足した「宝塚学博士の会」の活動をサポートしていく。

(時期)検定:3/21(土・祝) (会場)ソリオホール

(受検料)一般3,000円、学生500円

(見込受検者数)220人(合格基準)初・中級は70点以上、上級80点以上、博士85点以上(満点は100点)
合格者には認定証とピンバッジを進呈。



○「合格者のつどい」(関連企画)

(時期)5/17(土) (会場)宝塚文化創造館 (参加料)2,000円

(見込参加者数)50人

○試験対策セミナー(関連企画)

(時期)未定 2回実施予定 (会場)ソリオホール ほか (受講料)500円

(見込受講者数)各回90人

○宝塚街歩き(関連企画)

実際に宝塚の地を歩き、理解を深めるとともに検定の得点アップや受検者増を目指す。

(時期)未定 3回実施予定 (場所)未定

(参加料)500円 (見込参加者数)各回30人



(2)宝塚市文化団体連絡会共同開催事業

(概要)宝塚市内の文化団体による連絡会。団体同士の情報交換、つながりを強め、市文化政策への提言力を強める。また、加盟団体が協力して子どもを対象とした芸術文化の体験事業を開催するなど、さらなる地域文化の活性化と交流を図る。(活動時期)通年

(加盟団体)12団体 ※平成26年3月現在

宝塚合唱連盟、宝塚いけばな協会、宝塚演奏家連盟、宝塚書道協会、宝塚美術協会、宝塚市手工芸協会、宝塚茶道協会、宝塚三曲協会、宝塚デザイン協会、宝塚日本画協会、宝塚写真協会、宝塚市民謡民舞連合会

○共同開催事業「第3回わくわく！そうぞう！たからんまつり」

子どもたちが楽しく芸術に触れられるワークショップやコンサート、デモンストレーションを、加盟団体の会員が講師・出演者となって開催。合唱や書道など異なったジャンルのコラボレーション事業も行おう。

(時期)3月予定 (会場)宝塚文化創造館、花のみち・さくら橋公園

(参加料)無料～500円 (見込参加者数)170人

(見込来場者数)1,000人



(3)宝塚アーティストバンク

(概要)宝塚市内や近隣地域において様々な分野で活躍するアーティストを市民に広く紹介するため、アーティストの情報を集める。その人材を活かし、市民が身近に公演活動や技術活動に出会う機会を提供する。また、文化施設の外でも市民や子どもが気軽に芸術文化に触れる機会を作っていく。

あわせて、今年度第26回となる宝塚ベガ音楽コンクールの歴代入賞者リストを作成し、入賞者の音楽活動のバックアップを行う。

○「街かどコンサート」(関連企画)

「音楽のあるまち“宝塚”」を推し進める事業の一環として、市内の音楽関係者の協力により、G・コレクション阪急宝塚前広場などで無料のコンサートを開催。 年5回開催予定

○「学校コンサート」(関連企画)

市内の小学校を対象に、身近な音楽室や体育館でアンサンブル等の生の演奏を聴いたり、楽器を触ったりする企画を提供する。昨年度には西谷小学校を始めとした8校で開催。平成26年度は、さらに学校との連携を強化して実施希望校を募り、未来の宝塚の音楽文化をになう子どもたちに音楽の楽しさや演奏の喜びが体感できる機会をつくる。さらに、プロの演奏家であるアンサンブル・ベガの出演者による、中学校への出張ワークショップも行う。



(時期)未定 (見込実施学校数) 9校

拡充

○「福祉施設等コンサート」(関連企画)

平成26年度の新たな取り組みとして、市内保健医療福祉施設を対象にした出張コンサートを開催する。

(時期)未定 (見込実施施設数) 3施設

(4)「宝塚こども落語教室(宝塚コドモラクゴる)&落語公演」

(概要)落語をきっかけに和文化に対する理解を深めることを目的として実施。今回で8年目。最終回にはソリオホールで舞台発表を実施。発表会同日に講師を中心とした落語会も実施。

(時期)7月～8月 全7回 (会場)ソリオカルチャー及びソリオホール(発表会)

(参加対象)小学3年生～小学6年生

(参加料)10,000円(発表会含む 全7回分) (見込参加者数)7人

(講師)林家染左、笑福亭智之介 ほか

◇発表会「宝塚コドモラクゴる」

(日時)8/23(土) (入場料)無料 (見込入場者数)のべ150人



○落語公演「ソリオ夏の落語会」～落語っておもしろい！Ⅷ～(関連企画)

(時期)8/23(土)

(入場料)一般1,500円(当日2,000円)、高校生以下800円(当日1,000円)

(見込入場者数)160人

(出演)林家染左、笑福亭智之介 ほか

○宝塚こども落語くらぶ(関連事業)

宝塚こども落語教室の卒業生を対象とした団体。年2回の発表会を中心に活動。

(練習日)第2土曜日 (会場)ソリオカルチャーほか

(5)「ベガ ジュニア アンサンブル」

(概要) 子どもたちに演奏する楽しさや、合奏による協調性を育む目的で創設した弦楽アンサンブル。平成27年3月に8回目となる演奏会を予定。

(時期) 通年 (会場) ベガ・ホール ほか

(参加料) 6,000円/月 (見込参加者数) 16人



(6)「劇団BIGMOUSE」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 市民に演劇活動を通して、表現する楽しさや達成感を知ってもらうとともに、世代を越えて1つの舞台を作り上げることを目的として8月に公演を開催する。また、地域貢献として病院、老人ホーム等への朗読のアウトリーチを行うなど、新たな取り組みを進める。

(時期) 通年 稽古月2回日曜日 (会場) ソリオカルチャー ほか

(参加料) 高校生以下500円/月、大学生以上1,500円/月 (見込参加者数) 17人

○劇団BIGMOUSE公演「樋口一葉物語」

(時期) 8/31(日) 2回公演予定 (会場) ソリオホール

(入場料) 1,500円(当日2,000円) (見込入場者数) 各回240人

拡充

○朗読アウトリーチ活動

(概要) 日頃の稽古の成果を活かし、病院、老人ホーム等で詩の朗読や昔懐かしい歌を披露し、地域に根ざした活動を行う。

(時期) 未定 (場所) 病院、老人ホーム (回数) 3回予定

新規

(7)「ツキイチにつぼん玉手箱」

(概要) ソリオカルチャーの和室(301号室)を利用し、月1回、日本文化を鑑賞または体験する企画。奇数月はいけばなや書道、茶道などの日本の文化体験、偶数月は落語鑑賞を開催。

(時期) 文化体験: 5/24、7/19、9/20、11/15、1/17、3/14 土曜日開催

落語鑑賞: 6/21、8/30、10/18、12/20、2/21

(会場) ソリオカルチャー

(参加料) 文化体験: 各回1,000円 6回セット申込み5,000円

落語鑑賞: 無料

(文化体験内容) 茶道、和装、日本語朗読、書道、日本画、いけばな

(見込参加者数) 各回20~30人

【3】地域の文化に関する情報の収集及び提供

①宝塚地域の文化情報ポータルサイトの構築

地域文化情報を収集・整理し、広く提供する。

※「ウェブサイト」の概要 サイト名:宝塚クリップ(宝塚イベント情報) URL:http://t-clip.info/
サイト名:宝塚市文化財団 URL:http://takarazuka-c.jp/

②文化財団 NEWS! (ブログ)の実施

財団ホームページにてイベントの開催情報、最新情報を随時アップする。

③メールマガジンの定期的送信

財団事業に関する情報を、より多くの市民に提供していくため月1回の配信を実施。オンライン会員、事業に来場された方のうちメール配信に同意された方、職員が名刺交換した方に送信。チケット発売情報と近々開催するイベントを案内する。

④地域文化情報誌「ウイズたからづか」への掲載

・財団事業を中心とする各種文化行事に関する情報を、より多くの市民に提供していくため、情報誌「ウイズたからづか」(毎月15日・25,000部発行)誌面への掲載を行う。

・イベントの出演者、関係者にスポットを当てたインタビューコーナー「宝塚トーククリップ」を掲載

【4】その他の事業

(1)文化体験事業「たからづかカルチャー“プラス”」

(概要)「宝塚で豊かに暮らす・楽しむ」ことをキーワードに、体験型の講座を多く実施することで新たな客層を呼び込み、宝塚駅前のソリオの活性化をはかる。

(時期)通年 (会場)ソリオカルチャーほか (受講料)講座毎に決定

(講座数)半期各12講座程度 (見込受講者数)半期150人

(講座内容)デジカメ撮影、ヴァイオリン、韓国語、太極拳、ノルディックウォーキングほか



(2)文化団体の育成支援(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)音楽及び舞台芸術の普及・振興と当該分野の裾野拡大を目的として、次の3団体の育成を図る。

それぞれ定期演奏会、ファミリーコンサートなどを実施する。

①宝塚市交響楽団(練習日)土曜日(場所)ベガ・ホール

「宝塚市交響楽団第55回定期演奏会」

宝塚市制60周年、財団設立20周年を記念して、姉妹都市であるアメリカ・オーガスタから指揮者を招いて演奏会を開催。オーガスタ出身の作曲家による新曲の世界初演を行う。

(時期)6/22(日)(会場)兵庫県立芸術文化センターKOBELCO 大ホール

(入場料)1,000円(当日同額)

(演奏)宝塚市交響楽団、石上真由子(ヴァイオリン)

(指揮)シズオ・Z・クワハラ(オーガスタ交響楽団音楽監督、オーガスタ在住)

②宝塚市吹奏楽団(練習日)土曜日(場所)東公民館

③宝塚少年少女合唱団(練習日)日曜日(場所)中央公民館

(3) 市民、文化団体との協働事業

①「第48回合唱交歓会」

(概要) 宝塚合唱連盟加盟団体が日頃の練習の成果を発表すると共に、合唱を通じた市民交流を目的として開催。共催: 宝塚合唱連盟 (時期) 7/20(日) (会場) ベガ・ホール (入場料) 無料

②「第13回宝塚ベガ学生ピアノコンクール」

(概要) ベガ音楽コンクールの年齢要件から外れている小学生や中学生の部門も備えたピアノコンクール。宝塚演奏家連盟の結成20周年事業として平成14年に創設以後毎年実施され、今年度13回目。部門ごとに1位～3位を選出し、表彰状と賞品を贈呈する。共催: 宝塚演奏家連盟
(時期) 予選 8/18(月)・19(火) 本選 10/5(日) (会場) ベガ・ホール (入場料) 無料

拡充

宝塚いけばな協会60周年&財団設立20周年記念事業

③「宝塚いけばな展」

(概要) 創立60周年を迎える宝塚いけばな協会の会員による展覧会。わが国を代表する伝統文化の一つであるいけばなの普及振興を図るとともに、広く市民に鑑賞の機会を提供する。共催: 宝塚いけばな協会
(時期) 11/22(土)・23(日) (会場) ソリオホール (入場料) 無料



新規

宝塚市手工芸協会30周年記念&財団設立20周年記念事業

④「第18回宝塚市手工芸展」

(概要) 宝塚市手工芸協会による公募展。手工芸の普及振興を図るとともに、広く市民に鑑賞の機会を提供する。共催: 宝塚市手工芸協会
(時期) 11/27(木)～30(日) (会場) ソリオホール (入場料) 無料



⑤「第15回宝塚映画祭」

(概要) かつて映画撮影所があった宝塚の映画文化の再生と創造を目指して開催。市民の映画愛好者等で組織する宝塚映画祭実行委員会と共催。(時期・会場) 未定

⑥「兵庫ヴォーカルアンサンブルコンテスト2015」

(概要) 少人数のアンサンブルによる緻密な合唱音楽の追求を通じ、合唱団のメンバーの技術向上と友情の深更を図り、合わせて合唱団同士も交流を通じて、地域の合唱文化の進展を目的として開催。
共催: 兵庫県合唱連盟・兵庫ヴォーカルアンサンブルコンテスト実行委員会
(時期) 2/1(日) (会場) ベガ・ホール (入場料) 無料

Ⅱ．芸術文化施設の管理運営

下記施設の指定管理者として管理運営事業を実施する。

(指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)

今年度はベガ・ホール、ソリオホール及び文化創造館の指定管理者として第4期(5年間)の船出ともいふべき1年目にあたる。ベガ・ホール及びソリオホールは開館より長い時間が経っており、施設の老朽化対応やバリアフリー対応が必要となっている。設置者である市と協議しながら、市民の文化資産である両ホールを安全かつ快適な施設として維持管理していく。宝塚文化創造館においては、宝塚音楽学校旧校舎であった事跡的価値や設置目的に添った運営を行っていく。また、これら3施設の連携と特徴にあわせた活用を進めるとともに、施設の利用者アンケートを随時行い市民のニーズに添った運営を行う。

【1】宝塚市立文化施設ベガ・ホール管理運営事業

今年度、開館34年を迎える音楽専用ホール(座席数372)。舞台正面にパイプオルガンと、スタインウェイやベーゼンドルファーなど4台のグランドピアノを備えており、音響の素晴らしさには定評がある。市民による演奏会や、市や財団による主催事業が数多く行なわれ、宝塚の音楽文化の振興・向上の拠点である。



【2】宝塚市立文化施設ソリオホール管理運営事業

平成5年4月開館。昇降可能な舞台・客席を備えた多目的ホール(座席数約300)と、和室、レッスンルームなど様々な用途の会議室を7つ備える。宝塚駅から近く利便性が高いことから、演劇や音楽演奏会をはじめ、定期的なカルチャー教室など様々な目的に利用されている。



【3】宝塚市立宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)管理運営事業

昭和10年の建築以来平成10年まで63年の間、宝塚音楽学校として使われてきた建物を保存し、宝塚歌劇に代表されるような舞台芸術を中心とした文化活動の振興・集客に活用するため、宝塚市が設置。1階に講堂ホール(約180席設置可能)、2階に宝塚音楽学校と宝塚歌劇の常設展示室、3階にレッスンルーム(バレエ教室・日舞教室)を2部屋備える。

市民の声を反映し、創造館に相応しい事業を実施するための「事業企画運営委員会」を設置。また、宝塚市内での舞台芸術活動に要する稽古場を提供する「稽古場支援事業」を行い、さらなる活性化を図る。



Ⅲ. その他の事業

【1】文化財団「友の会」

友の会会員特典を充実させ、特別会員(個人)、賛助会員(法人)の加入増加を目指す。また、昨年度は財団職員で構成されたプロジェクトチームからのアイデアにより、入会者特典や紹介キャンペーンを実施したが、引き続き会員数を増やすための取り組みを行っていく。

*一般会員 1,050人(平成26年1月末現在)

1. 友の会会費

一般会員 年会費 2,000円、特別会員・賛助会員 1口10,000円

2. 友の会特典

(一般会員)

- ①情報誌(ウイズたからづか)の毎月送付。
- ②文化財団が主催する事業について1人2枚まで優待割引(一般価格の2割引)。
- ③友の会先行予約日の設定。
- ④協力店舗や劇場公演の優待。
- ⑤継続入会者に、文化財団が指定する催しのチケット代、またはホール及び会議室の利用料をお支払いの際に利用できる「友の会会員優待券」を進呈。(500円相当)

(特別会員・賛助会員)

- ①情報誌(ウイズたからづか)の毎月送付。(賛助会員は5部)
- ②文化財団が主催する事業について1口につき10枚まで優待割引(一般価格の2割引)。
- ③友の会先行予約日の設定。
- ④協力店舗や劇場公演の優待。
- ⑤文化財団が指定する催しのチケット代、またはホール及び会議室の利用料をお支払いの際に利用できる「友の会会員優待券」を進呈。(1口につき3,000円相当)
- ⑥文化財団が設置する「芸術文化基金」の支援者としてチラシ等に名前を記載。

【2】その他

(1) 市民ボランティア団体 Face to Face との連携

平成20年に、コンサート等イベントに関わりたい市民が中心になって立ち上げたボランティア団体「Face to Face(FTF)」。

結成以来、財団主催イベントの受付や場内案内スタッフ、アナウンス等で協力していただき、来場者の目線によるきめ細やかな気配りや対応で来場者からも好評であり、ホールのイメージアップにつながっている。

また、財団との連絡会を定期的実施して事業への意見や提案を出していただき、今後も密に連携していく。



(2) 託児サービスの実施

子育て世代の来場を促進するため、平成24年度より実施。未就学児の入場ができない催しにおいてチラシなどに記載し利用者を募る。

(託児利用料)1人あたり1,000円 (利用見込人数)1公演あたり2人、10公演



(3) 財団イメージキャラクター「たからん」の活用

平成24年度に誕生した財団イメージキャラクター「たからん」をチラシやホームページに記載してPRに活用。着ぐるみもイベント会場に数多く登場させて財団のPRを行う。また、今後は財団主催以外のイベントについてもキャラクターイラストや着ぐるみを使用可能にし、より財団の知名度アップを図っていく。



新規 財団設立20周年記念事業

(4) 青年ハーフチケットの導入

財団設立20周年を記念し、若い世代の文化事業参加を促す目的で、18歳から29歳の人を対象に財団自主事業のほぼ全てでチケット料金を一般価格の半額とする「青年ハーフチケット」枠を導入する。なお、このチケットは、財団設立20周年にちなんで各事業20席用意する。

(5) 後援名義の使用許可

地域芸術文化活動の活発な展開を促す一助として、地域の芸術文化団体等からの申請に基づき、その主催する催しに宝塚市文化財団の後援名義使用を承諾し、PR協力等を行う。

(6) 文化事業への寄附募集

地域の文化の発展・向上を願う個人や企業からの、使途・目的を明確化した寄附金を募り、文化事業のために使用する。企業からの実績としては平成25年度に株式会社池田泉州銀行、大和証券株式会社から寄附をいただいた。公益財団法人としてふさわしい公益目的事業の充実のため、今後も財団の事業趣旨に広く理解を求めていく。